

日本小児神経学会

1. 学会の会員構成等

3, 207名

小児科医 : 2, 804名

脳神経外科医 : 76名

精神神経科医 : 33名

うち小児神経科専門医 : 1, 016名 (平成17年12月現在)

(1)一般の小児科医・精神科医 3, 207人

(2)子どもの心の診療を定期的に行っている小児科医・精神科医 1, 016人

(3)子どもの心の診療に専門的に携わる医師 100人

2. 対象疾患領域等

精神保健医療福祉に関する法制・制度、経済、管理運営、国際交流など子ども・成人に関係なく関与

○小児神経科専門医研修項目各論Ⅱに含まれる

－ 3 周産期脳障害：学習障害、広汎性発達障害などの医療・療育

－ 17 精神神経疾患：発達障害、行動上の障害などは小児神経科診療の主要な領域の一つである

・学習障害、知的障害広汎性発達障害（Rett症候群、自閉症、Asperger障害、など）

・行動、情緒の障害（多動性障害、チック障害など）

・心因性疾患、抑鬱、強迫性障害など

・不登校（不登校は身体疾患としての把握もあるために便宜上この項目に入れてある。）

－ 18 睡眠障害

3. これまでの取り組み

○小児神経科専門医制度

平成3年～現在：認定者数1, 016人

研修年数5年、基本領域学会の専門医取得が前提で大多数は小児科専門医を有する上にsubspecialtyとして小児神経科専門医資格を取得する。

筆記試験、面接試験、更新制度、研修施設認定などの専門医制度があり、試験には「小児神経科専門医のための到達目標・研修項目」の総論・各論の全てが範囲で、総論では医療倫理、医療経済、症候論、薬理、療育などについての14領域を含み専門医医療の質の保証に努めている。

平成15年度の年間認定者： 121（更新106、新規15）人

平成16年度の年間認定者： 127（更新100、新規27）人

平成17年度の年間認定者： 183（更新151、新規29）人

○発達障害支援のための研修会

・学会理事を中心に平成17年7月に第1回開催。

・初回受講者150名（小児科医48%、小児神経科医9%、精神科医42%）

・小児神経学セミナー：発達障害等子どもの心関連の研修も含め毎年2泊3日で実施

平成15年度（第33回）の年間受講者： 114人
平成16年度（第34回）の年間受講者： 122人
平成17年度（第35回）の年間受講者： 103人

○学会総会、学会地方会、などによる発達障害関連の学習・研修

平成15年度の年間受講者： 2,672人
平成16年度の年間受講者： 3,001人
平成17年度の年間受講者： 2,790人

4. 今後の取り組み

○平成18年度の計画

- ・健診医対象の子どもの心の発達講習会（資料配布実技あり）開催（東京大阪）
- ・医療（小児科精神科）保育教育行政の連携の検証（成功例（神戸久留米）失敗例（K大））
- ・関連学会との協力体制に関する準備、一般向けシンポジウムの開催
- ・小児神経学セミナーの検証、発達障害支援のための研修会サポート
- ・小児神経科専門医に対する研修（総会・地方会でのコース、セミナー）の検討

○平成19年度の計画

- ・子どもの心の発達講習会の地方での開催拡大（学会地方会が主催）
- ・医療保育教育行政の連携の実践開始（千葉・和歌山）
- ・関連学会との協力体制の確立、一般向けシンポジウムの検証を踏まえた開催
- ・小児神経学セミナーでの実技研修実施、発達障害支援のための研修会サポート
- ・小児神経科専門医に対する研修の実施

○平成20年度の計画

- ・子どもの心の発達講習会に対する検証開始
- ・医療保育教育行政の連携の実践続行（千葉・和歌山）
- ・関連学会との医師向けセミナー共催、一般向けシンポジウムの検証と開催
- ・小児神経学セミナー・発達障害支援のための研修会での研修プログラムの検証
- ・小児神経科専門医に対する研修の検証と実施

○平成21年度の計画

- ・子どもの心の発達講習会の資料、講習方法の再検討
- ・医療保育教育行政の新たなクロストークモデルの創設準備
- ・関連学会との共催セミナー及び一般向けシンポジウムでの新企画の検討
- ・小児神経学セミナー・発達障害支援のための研修会でのプログラムの改訂準備
- ・小児神経科専門医に対する研修を踏まえた生涯教育プログラム策定の準備

○平成22年度の計画

- ・子どもの心の発達健診講習会の資料改訂と新たな方法論の展開
- ・医療保育教育行政の新たなクロストークモデルの実践開始
- ・関連学会との共催セミナー及び一般向けシンポジウムでの新企画導入
- ・小児神経学セミナー・発達障害支援のための研修会でのプログラム改訂
- ・小児神経科専門医に対する研修実践を踏まえた生涯教育プログラムの完成